



HOKKAIDO  
ARTS FOUNDATION

# 北の とびら

vol.115  
平成30年8月

## 特集

アルカス演劇さーくる×吟ムツの会  
『マグノリアの花たち』  
佐世保と札幌、  
距離を越えて  
ひとつの舞台を創る。

この人に注目

## 森嶋拓

アートの子カラを考える  
アートギャラリー北海道

街歩きアート

神田日勝記念美術館

「鹿追町」

土田英生の  
演劇的恋愛相談

表紙作家の紹介  
滝花保和





●特集／アルカス演劇さーくる×吟ムツの会『マグノリアの花たち』

## 佐世保と札幌、 距離を越えてひとつの舞台を創る。

九州・佐世保の『アルカス演劇さーくる』と、北海道・札幌の『吟ムツの会』。  
約2000kmの距離を越えて共に創り上げる演劇『マグノリアの花たち』が  
9月に札幌、10月に佐世保で上演されます。  
パワフルで芸達者な2人の女優と力ある制作担当、3人の出会いから生まれた地域間交流。  
さまざまな年代の女性たちが輝く物語の舞台づくりについて、稽古場で伺いました。

### 札幌で生まれた縁が 佐世保との交流に

7月、4日間のプレ稽古のために、佐世保、東京、札幌を拠点に活動している俳優・スタッフ・演出家が札幌の稽古場に集合しました。取材スタッフがお邪魔した稽古3日目は、ちょうど制作担当の誕生日。休憩時間にケーキが配られ、祝福の声飛び交う和気あいあいとしたムードでした。稽古が始まるとすぐにいい緊張感が走り、どんどん熱気が増していきましたが、演出家の言葉に気持ちのよい笑いが起こる、楽しい雰囲気がありました。稽古場のムードメーカーとなっているのは、札幌で活動する女優・高野吟子さんとナガムツさん。所属劇団の異なる2人ですが、客

演で同じ舞台や劇団に関わったこととで知り合い、「劇団とはまた違う、自分たちのやりたい作品を作ろう」と意気投合してユニット「吟ムツの会」を結成しました。第1回の活動は2011年の朗読会。このときに読む作品を推薦したのが、今回の公演『マグノリアの花たち』の制作を担当しているアルカスSASEBO（公益財団法人佐世保地域文化事業団）の畠本哲郎さんです。畠本さんは佐世保から札幌の大学に進学。中退して人生に悩んでいるときに、演出家の鈴木喜三夫さんに声をかけられて舞台制作を手伝うようになり、高野さん・ナガムツさんと知り合いました。2010年に郷里に戻り、アルカスSASEBOに就職しましたが、高野さん・ナガムツさんと





佐世保出身の宮原清美さんが演出を担当

の交流は続き、来札時の飲み会の席で活動についての相談を受けるなどしてきました。朗読会には佐世保から駆けつけ、当日の客人れ・前説を担当しています。

大いに盛り上がった朗読会に気をよくし、いよいよ本格的な舞台づくりを、と考えた吟ムツ。上演作品として、女優2人が活躍する平田オリザさんの戯曲『隣にいても一人』を推薦したのも畠本さんでした。「短い作品だし、佐世保

と札幌それぞれで創って、一緒に札幌で上演しよう！」と盛り上がり、2015年1月、札幌の劇場で、吟ムツの会プロデュースの札幌版、アルカス演劇さーくる（アルカスSASEBOの演劇創造事業によるユニット）による佐世保版の連続上演を実現。終演後に平田オリザさんのトークも行われ、大成功のうちに幕を閉じました。「佐世保チームが札幌に来たんだから、次は札幌チームが佐世保に

行こう！」。打ち上げの席では誰からともなくそんな言葉が飛び出しました。

### ネットも活躍、距離を越えて絆を創る

アルカス演劇さーくるは、佐世保市で演劇活動を行う人たちが劇団の垣根を越えて参加できる・未経験の市民も参加できるスタイルで、2003年度から継続的に活動。オリジナル作品の創作や他都市での上演を積極的に行い、佐世保での演劇シーンの活性化に努めてきました。

吟ムツの会との2度目のコラボレーション『マグノリアの花たち』は、佐世保と札幌のキャスト・スタッフが一緒に一つの舞台を創る共同制作です。アルカスSASEBOでは、2年後に迎える20周年の記念事業に向けて人材を育成する目的を持って始動しました。

『マグノリアの花たち』という演目は、「いろんな年齢の女性が輝く作品を」という理由で決定。演出は、佐世保出身で現在は東京を

拠点に活動している宮原清美さん。佐世保キャストは、オーディションで選ばれた若手2名。美術や照明はアルカスSASEBOのスタッフが務めます。「吟ムツの2人はタフでユニーク。吟さん、座組にいると全体を明るく活発にしてくれる影響力があるし、ナガムツさんは、フルタイムで働きながら演劇だけではなく落語もやって、たくさんの舞台に出演している。一緒に舞台を創作することで、佐世保チームは多くのことを学べるはず」と畠本さんは言います。

出演者6名のうち残る2名は、『ジュリア・ロバーツとサリー・フィールドを探せ!』という映画版の配役になぞらえた台詞言葉で、吟ムツの2人が札幌で女優探し。「かわいいだけではなく聡明さがほしかった」という、物語の鍵となるシエルビー役に小林泉水さん、「落ち着きと深く豊かな声が母親像にふさわしい」とマリン役に大橋千絵さんが選ばれました。高野さんは偏屈者の未亡人ウィーザー、ナガムツさんは元町長夫人で資産家のクレイリーを演

じます。

「正直、実現できるの?という思いがありました」と高野さん。作品に登場するのは信頼関係で結ばれた女性たち。4名は札幌、2名は佐世保、1カ月の稽古でそのような絆を舞台上に醸成できるまになるのか、不安がありました。

「稽古に入っただけに『あ、大丈夫だ』と思いました。多くの舞台を経験している宮原さんの指摘は明快ですし、佐世保の2人は吸収力が高い。手応えのある稽古ができています」。

距離を越えての舞台づくりには、インターネットが活躍しています。キャストは演出家に動画を送って決定。最初の脚本の読み合わせは通信アプリのグループ通話で行いました。「タイムラグもなく聞こえ、ダメ出しまで問題なくできました」と高野さんは言います。「新しい技術の活用もそうですが、新しいスタッフ・キャストとの舞台制作はとても刺激的です。いい舞台に仕上げ、多くの人にみてもらいたい」。まずは9月の札幌公演に向け、集中した稽古が行われています。



写真左から、畠本哲郎さん(アルカスSASEBO)、高野吟子さん(吟ムツの会、劇団新劇場)、ナガムツさん(吟ムツの会、劇団coyote)

### 『マグノリアの花たち』

原作：ロバート・ハーリング  
 翻訳：黒田絵美子 演出：宮原清美  
 出演者：柴田静香（劇団楽園天国）、みや（劇団楽園天国）、ナガムツ（吟ムツの会/劇団coyote）、小林泉水、大橋千絵、高野吟子（吟ムツの会/劇団新劇場）、甲斐田貫之（FM長崎・声の出演）  
 主催：アルカスSASEBO/吟ムツの会  
 助成：公益財団法人北海道文化財団

アメリカ南部ルイジアナの小さな町美容室を舞台に、6人の女性たちが織りなす結婚・出産・誕生・死に至るまでの人生全ての物語。1987年にオフブロードウェイで初演。1989年にアメリカで映画化、日本でもヒットした。

### 【札幌公演】

2018年9月29日(土) 14:00/19:00、30日(日) 14:00  
 ターミナルプラザことにPATOS

### 【佐世保公演】

2018年10月19日(金) 19:00、20日(土) 14:00  
 アルカスSASEBOイベントホール

### ●チケット取り扱い

- ・札幌公演 道新プレイガイド、大丸プレイガイド、札幌えんかん
- ・佐世保公演 アルカスSASEBO

日時指定・自由席 一般2000円、学生1000円

# 森嶋 拓

Taku Morishima



a r t

## 美術館とコレクションの意義と価値を、 改めて考える機会に。

北海道で一番小さな音威子府村にある世界的な彫刻家・砂澤ビッキの記念館。道内最古のアイヌ博物館である河村カ子ト記念館。267点のピカソの版画を所蔵する荒井記念美術館。北海道には個性的な美術館や文化施設が100以上もあり、多様なコレクションを収蔵・展示しています。

「アートギャラリー北海道」は、6つの道立美術館（近代美術館、三岸好太郎美術館、旭川美術館、帯広美術館、函館美術館、釧路芸術館）を中心としてこれらの施設が連携することで、施設や収蔵作品の認知度を高め、道内でコレクションされる作品の鑑賞機会を増やそうという取り組みです。道立美術館を管轄する北海道教育庁の事業として昨年からは準備が進められて、現在約70施設がネットワークに参加。スタートを切る2018年度は、道立美術館で11施設と連携しての展覧会が開催されます。

しかし、ネットワーク構築を進める中で、経営の厳しさで休館したり、後継者がなく閉館されていく施設の多さも見えてきました。中には北海道美術史に名を刻む作家の施設も



ART GALLERY HOKKAIDO

あり、「閉館となればコレクションは処分され、散逸・消失してしまう」と関係者は残念がります。

美術館は、資料（作品）の収集・保管・展示・調査研究という社会的な役割を持っています。公立美術館が日本各地に建設されはじめた1970年代以降、華やかな特別展が多々企画され、広く一般市民が芸術に興味を持つきっかけを作ってきましたが、一方で、美術館とは特別な企画を観に行く場所というイメージを持つ人も増えました。「独自のコレクションこそが美術館の存在意義であり、価値でもある。アートギャラリー北海道というネットワークが、地域にあるコレクションをどう守って行くかについて語り合い、考えていく場になれば」と美術館の関係者は言います。

アートギャラリー北海道では65カ所での「スマホスタンプラリー」を実施。各地のコレクションの存在を伝えると同時に、「観に行く」というアクションを生じさせることを目的としています。地域でコレクションされてきた作品を鑑賞し、北海道の歴史や風土を再発見することを通して、多くの人が改めて美術館と収蔵作品の意義と価値に思いを巡らす機会となることが期待されています。

コンテンポラリーダンスやその要素を取り込んだ舞台作品が、近年は札幌でも盛んに上演されています。森嶋拓さんは札幌を拠点に先鋭的なダンスの普及・発展を目指すさまざまな取り組みを行い、シーンの活性化に貢献している一人です。

ヒップホップダンサーとしてスタートし、19歳からダンススタジオや専門学校などで指導するように。けれど「先生と呼ばれる立場になり、その世界の狭さが窮屈になって」、24歳頃から多種多様なイベントや公演を企画する活動にシフトし、多くのアーティストと交流を持つようになりました。

一方で、平原慎太郎さんをはじめ北海道出身のダンサーの活動の広がり刺激を受け続け、2011年、32歳で「北海道コンテンポラリーダンス普及委員会」を立ち上げます。また、この領域のダンサーたちの札幌での活動拠点として、翌年に「CONTE-SAPPORO Dance Center（以下、コンテ札幌）」を設立。コンテンポラリーダンスを中心とした定期的な公演や振付家養成のための講座を実施するほか、ダンサーのサポートやマネジメントを行ってきました。ダンスユニット「OrganWorks」（拠点は東京。平原さんのほか、東海林靖志さん、浜田純平さんら北海道のダンサーも参加）の広報も務めており、「この団体を突き抜けた存在に押し上げることで、コンテンポラリーの新しい世界を切り開きたい」と語ります。

また、舞踏の普及にも努めており、2017年からスタートした「札幌国際舞踏フェスティバル」を、今年は「北海道舞踏フェスティバル」と名称を改め、道内6都市で2カ月にわたって実施。今後は「作品の紹介に留まらず、新しい時代の舞踏を創造・発信していきたい」と考えているそうです。

今年10周年を迎える飛生芸術祭（白老町）に創設時から関わっているほか、秋に完成する札幌文化芸術劇場hitaruで来年2月に上演される舞台の創作に、美術家、映像作家らと共に参加。北海道の舞台芸術活動を牽引していく若きリーダーとして注目されています。

pick up!  
鹿追町

### 幼小中高一貫教育

文部科学省研究開発学校の指定を受け、英語でのコミュニケーション能力を身につける「地球コミュニケーション」と環境教育の「新地球学」を、幼小中高一貫教育で実施。高校1年で全員カナダへ短期留学させるなど、先進的な取り組みが行われています。

鹿追町教育委員会 学校教育課  
☎0156-66-2646

### とち鹿追ジオパーク

「火山と凍れが育む命の物語」をテーマに、90万年前からの火山活動によって生まれた地形や環境、生態系、人々の営みについて学ぶジオツーリズムを実施。然別湖周辺の風穴の森ではエゾナキウサギに会えるかも。

とち鹿追ジオパーク推進室  
☎0156-67-2089  
www.shikaoui-story.jp

### 福原記念美術館

大手スーパーマーケット「フクハラ」の創業者・福原治平のコレクションを公開。洋画や日本画、彫刻など約150点を展示し、神田日勝の作品も10点所蔵しています。美しい庭園やカフェも併設。

☎0156-66-1010 開館時間:9:30~17:00 月曜休館 入館料:一般600円など art-fukuhara.jp

### 鹿追そば(鹿追そばまつり)

そばの名産地として、10月上旬の土日、新そばの解禁とともに開催。町内のそば自慢の店が一堂に会し、贅沢に食べ比べができます。また、そば打ち体験などイベントが盛りだくさんで、そば打ち道具も手に入ります。

鹿追そばまつり実行委員会  
(鹿追町役場商工観光課内)  
☎0156-66-4034

神田日勝記念美術館 開館25周年記念展  
「《室内風景》を巡る、これまでとこれから」

2018年9月2日(日)まで  
開催



2階への階段を背に展示室を眺めると、右手に初期作品、左手に中期作品が並び、奥の《室内風景》へと導かれる



日勝はベニヤ板にペインティングナイフで描いた。(左上)膝を抱えて座る男が登場する《飯場の風景》1963年 (右上)雑誌から着想を得た《画室A》1966年 (左下)新聞の部分を筆で描いた《室内風景》1970年(北海道立近代美術館蔵) (右下)新聞の描き方に影響を与えた海老原映の《1969年3月30日》1969年(作家蔵)

●河東郡鹿追町東町3-2  
☎0156-66-1555  
開館時間:10:00~17:00(最終入場16:30)  
休館日:月曜(祝日の場合は翌日)  
観覧料:一般520円、高校生310円、小中学生210円  
kandanissho.com



## 神田日勝記念美術館

大雪山系のふもとのまち・鹿追町は、火山の営みが作り出した肥沃でなだらかな丘陵地帯が広がり、大規模な畑作や酪農がさかんな地域です。この地で、営農をしながら画家として活動していたのが神田日勝です。1993年、その画業を記念し、資料など合わせて約300点を収蔵する美術館が開館。25周年を迎えた今年、これまでの調査と研究に基づいた意欲的な展示を行っています。



### 神田日勝、そのイメージの源泉をたどる

新聞で埋め尽くされた空間に座り、目を見開いてじっとこちらを見つめる男。閉塞感ただよう《室内風景》は、画家・神田日勝の代表作として知られています。北海道立近代美術館の所蔵ですが、神田日勝記念美術館が開館してから5年ごとに里帰りして公開されてきました。今回の25周年記念展では、館の歩みを振り返るとともに、室内を描いた作品の制作過程から画家としての日勝を捉え直すという、新たな視点が試みられています。

日勝の作品は、戦後に開拓農家として入植した一家の経歴や、自身も農業に携わっていたこと、また32歳という若さで亡くなったこともあり、その生涯や実生活と結びつけて多く語られてきました。しかし、近年の研究から、1950年代、60年代の美術動向を敏感に察知し、貪欲に創作へ取り入れていた日勝の姿が見えてきました。今回の展示は、そのプロセスを追うことができるよう工夫されています。

1階展示室には、「モノクロームの路(みち)」として初期作品、「カラフルの路」として中期から晩年の《室内風景》にいたる作品が並んでいます。茶色を基調に労働を

思わせる室内を描いていた日勝が、一転して多彩な色で描き始めた室内は画室(アトリエ)でした。しかも、美術雑誌に掲載されたある画家のアトリエのモノクロ写真がモチーフであることが、2年ほど前に判明。その雑誌も展示されています。見ていくと、この画室の風景がだんだん変化していき、《室内風景》へつながることがわかります。さらに、背景の新聞の描き方に影響を与えたと考えられる、海老原映(えい)の作品を初めて同時に展示。日勝は美術雑誌などに目を通し、作品図版をスクラップするなど、同時代の美術作品をイメージの源にしていました。

吹き抜けの2階には、美術館のシンボルで絶筆の《馬(絶筆・未完)》が展示されています。これも、階段の壁に並べられたデッサンから、室内の作品とつながっている可能性があることに気づかされます。「日勝の作品には同時代の美術の影響があり、取り入れたモチーフを消化し変容させていったことがよくわかって思います」と、学芸員の川岸真由子さん。これまでとはまったく違う神田日勝作品の魅力に出会うことができる機会となるでしょう。

shikaoui

表紙作家の紹介



滝花 保和 現代美術家

Takihana Yasukazu

ミクストメディアを中心として、絵画、コラージュ、造形、イラストなど表現は多岐にわたる。鉄屑を使ったミクストメディアや、かわいらしいけどどこか毒を含んだ動物のイラストを制作するなど、一見して同じ作家とは思えないようなあらゆるジャンルの作品を制作。現在函館を拠点に、各地で個展を中心に作品を発表。また、イベントポスター、表紙、CDジャケット、グッズ製作など幅広く活躍中。

takihanayasukazu.com

[主な個展]

- 2018年「POET」函館葺屋書店(3月・5月)
- 2018年「HOTEL NEW TAKIHANA」HakoBA 函館
- 2017年「滝花保和展」札幌サタデイズ・チョコレート・ファクトリー・カフェ
- 2017年「まばたき ガラス絵展」函館テアオー
- 2015年「タキハナノハナテン」BAY Gallery/函館
- 2014年「Junk04」ギャラリー門馬/札幌
- 2013年「Junk03+Works」リーヴズ函館
- 2011年「JUNK2」Gallery三日月/函館
- 2009年「JUNK」BAY Gallery/函館

[グループ展]

- 2018年「三人展 KnowSnowNorth」東京日本橋 Roonee247
- 2016年「JR Tower Art Planets 2016」札幌 JR Tower

2012年「道南の美術21世紀」北海道立函館美術館

2010年「青函交流美術展」青森県立美術館/函館市地域交流まちづくりセンター

[公募展]

- 2018年「全道展公募展」佳作賞
- 2016年「行動展公募展」奨励賞 会友推挙
- 2015年「赤光社」会員推挙
- 2015年「全道展公募展」奨励賞
- 2013年「赤光社公募展」第90回記念賞
- 2013年「行動展公募展」入選(以下毎年入選)
- 2012年「赤光社公募展」赤光社美術協会賞・会友推挙
- 2007年「赤光社」入選(以下毎年入選)

[その他]

Live paint 2009年 EILEYS 2015年 函館美術館広場  
「アートフェア札幌」クロスホテル札幌(2015~2017年)



◎北海道文化財団アトスペース企画展 vol.37

滝花保和個展「きみのことばはよくわかる」

会期:平成30年9月4日(火)~11月30日(金) 9:00~17:00

休館日:土・日・祝日 ※都合により休館する場合があります。

会場:北海道文化財団アトスペース  
(札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル3F)

入場料:無料

土田英生の演劇的恋愛相談

①

八 相談

土田さん、北海道戯曲賞の審査、有難うございました。賞金、元カノへの家賃返済に充てさせて頂きました。

僕は極私的に作劇を行っているせいか公演関係者に恋しがちで。

でもそんなに遊んだりする程器用ではないので結果僕が鬱っぽくなったり、周りに人がいなくなったりということになります。

恋心を制御して円満な関係を保つ術はないでしょうか？

相談者・本橋龍  
演劇ユニット「ウンゲツイフア」主宰。東京都練馬区にある民家「ウンゲ庄」を拠点に活動。戯曲『動く物』で平成29年度北海道戯曲賞大賞を受賞。

今号から3回シリーズで、演劇的恋愛経験豊かな土田英生さんが皆さんの恋愛相談にお答えします。「相談したい」という方はメールアドレス「love@hat.jp」宛に、お名前と電話番号を明記のうえ、相談内容をお送りください。

回答

難しい問題ですし、私にも思いあたる部分があります。そして恋心を制御する方法はありません。答えるとするならば目線を変えていくことですね。身近な人に恋することは悪いことではありませんが、多分、世界が狭いんです。本橋さんにはそれなりの社会的野心もあると推測します。だとすれば、演劇でもっと認められることが最善の解決策ではないでしょうか。自分のテリトリーが広がれば身近だと感じられる人の数も全く違ってきます。この戯曲賞をきっかけにもっと羽ばたきましょう。それしか方法はありません。

回答者・土田英生(劇作家・演出家/MONNO代表)  
1989年に「B級ブラックティス」(現MONNO)結成、1990年以降全作品の作・演出を担当。1999年『その鉄塔に男たちはいるという』で第6回OMS戯曲賞大賞を受賞。2001年文学座に書きおろした『崩れた石垣』のほろ駐たちで第56回芸術祭賞優秀賞を受賞。2003年文化庁の新進芸術家留学制度で1年間ロンドンに留学。テレビドラマ・映画脚本の執筆も多数。

まちな文化創造事業

●ニトリ文化ホール閉館ファイナルバレエ公演

日 時:平成30年9月2日(日) 16:00開演(15:30開場)  
会 場:ニトリ文化ホール(札幌市中央区北1条西12丁目)  
入場料:S席5,500円、A席4,000円(当日券500円増)  
問い合わせ:ファイナルバレエ実行委員会  
☎011-868-5530

●第5回いっしょにね!文化祭

日 時:平成30年10月6日(土) 12:00開演  
会 場:北翔大学北方圏学術情報センター  
(札幌市中央区南1条西22丁目1番1号)  
入場料:500円、高校生以下無料  
問い合わせ:いっしょにね!文化祭実行委員会  
☎011-676-3955

●北海道陶芸会50周年記念事業  
陶・創造者たち-北の大地と共に-  
江別市セラミックアートセンター展

会 期:平成30年10月6日(土)～10月14日(日)  
休館日10月9日(火)  
会 場:江別市セラミックアートセンター  
(江別市西野幌114番地の5)  
入場料:無料  
問い合わせ:北海道陶芸会、江別市セラミックアートセンター  
☎011-385-1004

●藤沢レオ-Still Living

会 期:平成30年10月6日(土)～12月2日(日)  
会 場:苫小牧市美術博物館(苫小牧市末広町3-9-7)  
入場料:一般300円、高校、大学生200円  
問い合わせ:苫小牧市美術博物館 ☎0144-35-2550

●斜里町140年・町制施行80周年記念事業  
ゆめホール知床開館20周年記念事業  
「斜里町手づくりシアター」

日 時:平成30年10月13日(土)・10月14日(日)  
2公演  
会 場:斜里町公民館ゆめホール知床(斜里町本町4番地)  
入場料:大人1,000円、子ども500円(当日券300円増)  
問い合わせ:斜里町公民館ゆめホール知床 ☎0152-22-2222

アートシアター鑑賞事業

●和心ブラザーズコンサート

豊頃公演  
日 時:平成30年9月4日(火) 18:30開演(18:00開場)  
会 場:豊頃町える夢館(豊頃町茂岩本町166)  
入場料:500円  
問い合わせ:豊頃町教育委員会 ☎015-579-5801

標津公演

日 時:平成30年10月28日(日) 14:00開演(13:30開場)  
会 場:標津町生涯学習センター(標津町南1条西5丁目5-3)  
入場料:一般1,000円 学生500円  
問い合わせ:標津町文化協会 ☎0153-82-2900

●切り紙で読む昔話

沼田公演  
日 時:平成30年9月5日(水) 18:30開演(18:00開場)  
会 場:沼田町まちなかホットタウン(沼田町北1条4丁目2-2)  
入場料:一般1,000円 学生300円  
問い合わせ:切り紙☆昔話コンサート実行委員会  
☎090-2055-6152(注)

滝川公演

日 時:平成30年9月29日(土) 14:00開演(13:30開場)  
会 場:滝川二の坂教会(滝川市滝の川町東1丁目1045)  
入場料:一般1,000円 学生300円  
問い合わせ:切り紙音楽コンサート実行委員会  
☎0125-23-6330

●東京プラススタイル プラスター・パーティー2018

岩内公演

日 時:平成30年9月16日(日) 14:00開演(13:30開場)  
会 場:岩内町地方文化センター(岩内町字万代51-7)  
入場料:一般1,000円 学生500円  
問い合わせ:岩内町教育委員会 ☎0135-67-7099

由仁公演

日 時:平成30年9月22日(土) 18:30開演(17:30開場)  
入場料:一般2,500円 小中学生1,000円  
会 場:由仁町文化交流館(由仁町東栄87-1)  
問い合わせ:由仁町文化交流館事業実行委員会  
☎平 日 090-3395-4997(伊部)  
土日祝 080-3235-3557(澤田)

長万部公演

日 時:平成30年9月24日(月・祝) 18:00開演(17:30開場)  
会 場:長万部町学習文化センター(長万部町字長万部411-216)  
入場料:一般2,000円 学生1,000円  
問い合わせ:長万部町芸術鑑賞実行委員会 ☎01377-2-2748

●杉山清貴コンサート

壮瞥公演

日 時:平成30年10月12日(金) 18:30開演(18:00開場)  
会 場:壮瞥町地域交流センター(壮瞥町字滝之町287-7)  
入場料:一般4,000円 学生1,000円  
問い合わせ:壮瞥町地域交流センター運営ボランティア実行委員会  
☎0142-66-2131

●上方落語の会～すべて見せますお囃子の世界～

木古内公演

日 時:平成30年10月14日(日) 15:30開演(15:00開場)  
会 場:木古内町中央公民館(木古内町字木古内179-1)  
入場料:1,000円  
問い合わせ:木古内町教育委員会 ☎01392-2-2286

文化交流事業

●弦巻楽団#31「センチメンタル」大阪公演

日 時:平成30年9月15日(土) 18:00開演(17:30開場)  
9月16日(日) 13:00開演(12:30開場)  
18:00開演(17:30開場)  
会 場:in→dependent theatre 1st  
(大阪市浪速区日本橋5丁目12-4)  
入場料:一般 前売2,800円 当日3,000円  
U-22 前売1,800円 当日2,000円  
問い合わせ:一般社団法人劇団弦巻楽団 ☎090-2872-9209

北海道戯曲賞

●北海道戯曲賞 作品募集

全国に門戸を開き、次代を担う劇作家や優れた作品を発掘し、北海道における演劇創作活動の活性化を図るため、戯曲作品を募集します。  
▷応募締切:平成30年9月21日(金) 必着  
▷応募方法:北海道戯曲賞ホームページをご覧ください。https://haf.jp/gikyoku.html  
▷問い合わせ:北海道文化財団 ☎011-272-0501